

-----2月21日-----

今週のアウトルック (2/21 ~ 2/25)

先週、ドルはやや調整色が強くなり、ユーロ円は今年の高値更新目前、ポンド円、豪ドル円は今年の高値更新という一週間でした。

今週、ドル円は83円をサポートラインとして再びドル高へ戻れるのか、それとも83円割れからドル安がさらに進むのか、大きな分かれ目となりそうです。

ドル円は雇用統計(失業率)の改善からのドル買いが一服した感があります。今週はユーロやポンドに対してだけでなく、円に対してもドル売りが本格化すれば、ドル売りトレンドの再開となってしまうかもしれません。ただ、米国の住宅関係の指標発表も多く、ある程度改善されていれば、もみ合い的な動きに終始してしまうかもしれません。

ドル円の予想レンジは82.5円から84円です。

ユーロ円は、今年の高値114円を更新して、更にユーロ高が進む可能性と、ユーロドルが1.37から折り返して、ユーロ安へ向かう可能性の、二つのシナリオが考えられます。

エジプト情勢は一服したものの、民主化デモの動きは中東各国でも追随する様子が強く、予断を許さない状況は続いています。地理的な要因からユーロ圏に与える影響も大きいように思います。可能性的には、ユーロの一度調整の可能性が少し強いように思います。

ユーロ円の予想レンジは112.5円から115円です。

ポンド円はユーロが大幅調整の状況にならなければ、138円あたりまでポンド高が進む可能性が強くなったように思います。

ポンド円の予想レンジは133円から138円です。

今週は引き続き、中東各国の動きに注目したいところです。また、上昇トレンドにある先進国の株式市場も大きく調整した場合、リスクテイクのトレンドが大きく変わる可能性もあります。各国の株式市場にも十分注意する必要があるようです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。